



地域おこし 協力隊通信

地域おこし協力隊

松田 清也

最上町地域おこし協力隊を6月末で退任するにあたりまして、まずはこれまで活動を支えてくださった最上町民の皆様へ感謝申し上げます。3年という短い期間ですが、東京から最上町に帰ってきてから今まで、最上町地域おこし協力隊として過ごせたことを幸いに思います。とても充実した活動を送ることが出来たのも、皆様のおかげに他なりません。この文面では、その感謝と私の活動のまとめ、今後についてお伝えできればと思います。

まず「たらふく工房満沢」さんの応援についてです。活動1年目から共に農家レストランの立ち上げに奔走してきました。メディアなどにも取り上げられるようになり、おかげさまで多くのお客様にご利用いただいている現状です。今後もお客様一人ひとりを大切にして、地域のバトンを未来につないでいってほしいと、心から応援しています。

次に、自身のフランス料理修業についてです。私は庄子正弘シェフというフランス料理人に出会い、この道を志すこととなりました。「喫茶

お誕生日や記念日にも、タルトのご注文をたくさん頂きました！ありがとうございました。



2月のイベント、バレンタインデーのタルト「ショコラバナナ」です。



喫茶やまねこ

数多くのイベントにお呼びいただきました。お客様との交流が何より楽しかったです！



特別号

地域おこし協力隊

白田 唯

最上の暮らしでは自然の恵みをたくさん感じることができました！



そば打ち

シンプルだけど難しく、そして楽しいそば打ちに魅せられ練習中。



↓ハーブ香るせっけん

私にとっては最上町に来て3度目の初夏です。力を増していく日差しと爽やかな風、鏡のように山と空を映す田んぼ、蛙の鳴き声で心が落ち着くような夜。何度経験しても、良い季節だなと思います。今回は町の皆さんにご報告したいことがあり、記事を書かせていただきました。私事ではございますが、この度、地域おこし協力隊の松田清也隊員と入籍し、私も共にフランスへ行くことになりました。それに伴い、6月30日をもって協力隊を退任いたします。

でしたが、「畑仕事が好きなら最上に向いてるね」「若い人がそば打ちしてくれるとうれしい」と声を掛けてくださる町の方々に救われてきました。自分が活動することで町の人々が喜んでくれる、そのことが私は何よりもうれしかったです。また、たらふく工房満沢の皆さん、ハーブコーディネーターの高橋かずえさんにはたいへん感謝しています。私が支援できたのは微々たることで、畑仕事や郷土料理、ハーブの良さや楽しみ方など「もがみの暮らし」の醍醐味をたくさん教えていただきました。そういった活動だけでなく、明るく温かくたくましい、彼女たちの生き方からも大きな影響

を受けました。私も彼女たちのような「最上の母」を目指し、努力していきたいと思っています。この最上町で、好きな仕事に出会えたこと、人生を共に歩む家族ができたこと、目指したい生き方を見つけたこと、たいへんうれしく思います。最上町に来て良かったなあ。町の皆さんのご協力なくして、今の私はありません。「協力する人」として最上に来たはずなのですが、やはり協力隊という仕事は難しいですね。本当にありがとうございました。農業大国のフランスでは、無農薬・有機農法にも力を入れているそうです。自然と共に生きる「もがみの暮らし」を受け継いでいくためのヒントがあるように思います。最上で実践できるよう、それらの農法を学んできたと思います。ハーブの本場でもありますし、ワインやチーズ作りなどの手仕事も気になります。あちらにはどんなお百姓さんがいるのでしょうか、楽しみです。松田さんと一緒に、フランスをまるごと体験していきたいと思っています！

最上町を離れるのは寂しいですが、帰って来てから皆さんのお役に立てるよう、実りある時間を過ごしていきたいと思っています。今までありがとうございました！



ひとコマを振舞わせていただきました。青空市でスーパードライ。